



なのみ通信

筑前町立東小田小学校 学校通信 1月21日 第11号



おそうじは たのし ♪

掃除の時間、雑巾がけを頑張る子ども達。冷たい水で雑巾を洗い、一生懸命しぼります。
(1月19日、2年教室にて)

こんにちは。南天のシリウスが一段と輝いて見える季節です。健やかに新しい年をお迎えになったことと存じます。しかし、本県に緊急事態宣言が発令され、これまで同様、強い危機感をもった新学期となりました。学校行事をはじめ教育活動等にも制約が生じてきますが、皆様と情報共有を図りながら難局を乗り越えていきたいと思えます。厳しい寒気団の襲来により、始業式は **white opening ceremony** となりました。

◆ 子どもがつくる学校 ◆

本校に赴任して以来、ずっと感じていることがあります。それは、子ども達が、自分たちの学校をより良くすることに参画していることです。特に、5・6年生による委員会活動。校内の問題に対し各委員会が「先手」の取組を進めます。「コロナに即、感染防止ポスター募集・掲示」「運動場のトラブル防止の見守り活動」「児童玄関の傘など整理整頓週間」「3学期始めは廊下の右側歩行大作戦」・・・といった取組。「あれ、おかしいな?」と感じる時期に始まっているのです。もちろん、担当職員の鋭い感性と助言も大きな力です。そして、子ども達の積極的な企画と取組。本校の魅力の一つは**子どもがつくる学校**です。他の学年も、児童運営による月一回の学年集会、学級会での集団討議・集団活動・・・「子どもがつくる学校」には、3学期も大いなる期待と希望を感じます。

◆ 通学路 其ノ六 ◆

足取り重くやって来る女の子二人。

いつもは私に、牡蠣小屋行きなど、いろいろと楽しそうに自慢話をし、うらやましながらせて行く二人。
今日はどうしたのか聞くと、

「きょうは、ゆみちゃん（仮名）が北九州に行く日・・・」
仲良しだったクラスメートの転校。

「ゆみちゃんに、お手紙とか渡したくなかった。」
「むこうでもお友達たくさん作ってね、とか本当は書きたくなかった。」

二人の胸をしめつけるのは、仲良しの優しかったゆみちゃんが、遠くへ行ってしまうこと。

そして、それ以上に寂しいのは・・・ゆみちゃんが二人の知らない町で、二人の知らない学校で、二人の知らない友達と、新しい生活を送っていくこと。そして、そこに、二人はいないこと。

でも本当は、ゆみちゃんの幸せを願っている二人。複雑な思いが響いて来ます。

私達は、いくつもの一期一会を重ね生きていきます。生きることには出会うこと、そして別れること。

胸いっぱい寂しさが、これからの出会いをまた大切に二人をはぐくんでいくことを願っています。

